



パーティションの設定

ルート パーティションを検索、追加、更新、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- 「パーティションの設定値」 (P.53-1)
- 「パーティションの検索」 (P.53-4)
- 「パーティションの設定」 (P.53-5)
- 「パーティションの検索 (パーティションが多数ある場合)」 (P.53-6)
- 「パーティションと影響を受けるデバイスとの同期化」 (P.53-6)
- 「パーティションの削除」 (P.53-7)
- 「関連項目」 (P.53-8)

パーティションの設定値

パーティションには、Directory Number (DN; 電話番号) およびルート パターンが登録されているルート パターンのリストが含まれています。パーティションは、編成、ロケーション、およびコールタイプに基づいて、ルート プランを複数の論理サブセットに分割することにより、コールルーティングを容易にするものです。パーティションの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「パーティションおよびコーリング サーチ スペース」を参照してください。

表 53-1 では、パーティションの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」 (P.53-8) を参照してください。

表 53-1 パーティションの設定値

フィールド	説明
[パーティション情報 (Partition Information)]	
[<パーティション名>, <説明>]	<p>名前を [<パーティション名>, <説明>] ボックスに入力します。各パーティション名が、そのルート プランに固有の名前であることを確認してください。パーティション名には、a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9 と、スペース、ハイフン (-)、およびアンダースコア文字 (_) を使用できません。</p> <p>(注) パーティション名の長さによって、コーリング サーチ スペースに追加できるパーティションの最大数が制限されます。 表 53-2 に、パーティション名が固定長である場合にコーリング サーチ スペースに追加できるパーティションの最大数の例を示します。</p> <p>パーティション名の後にカンマ (,) を入力してから、そのパーティション名と同じ行に説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>)、または角カッコ ([]) は使用できません。</p> <p>説明を入力しない場合は、Cisco Unified Communications Manager が、自動的にこのフィールドにパーティション名を入力します。</p> <p>各パーティションおよび説明には新しい行を使用してください。</p>
[スケジュール (Time Schedule)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、このパーティションに関連付けるタイム スケジュールを選択します。関連付けられたタイム スケジュールは、パーティションがいつ着信コールを受信できるかを指定します。</p> <p>デフォルト値は [なし (None)] です。この値は、time-of-day ルーティングが有効ではなく、パーティションが常にアクティブであることを意味します。</p> <p>パーティションのタイム スケジュールとの関連は、次のフィールドにある [タイムゾーン (Time Zone)] 値との組み合わせで、time-of-day ルーティング用のパーティションを設定します。指定されたタイム スケジュールに対して、このパーティションへの着信コールがチェックされます。</p>

表 53-1 パーティションの設定値 (続き)

フィールド	説明
[タイムゾーン (Time Zone)]	<p>次のいずれかのオプションを選択し、パーティションをタイムゾーンに関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [発信側デバイス (Originating Device)] : このオプションを選択すると、発信側デバイスのタイムゾーンに関連付けられたタイムスケジュールに対してパーティションがチェックされます。 [特定のタイムゾーン (Specific Time Zone)] : このオプションを選択する場合は、ドロップダウンリストボックスからタイムゾーンを選択します。このタイムゾーンの中でパーティションが指定されたときに、関連付けられたタイムスケジュールに対してパーティションがチェックされます。 <p>これらのオプションはすべて [タイムゾーン (Time Zone)] を指定します。いずれかのオプションを選択した場合、着信コールが発生すると、Cisco Unified Communications Manager の現在時刻が指定されたタイムゾーン設定に変換されます。この指定された時刻は、[スケジュール (Time Schedule)] フィールドの値と比較して検証されます。</p>



ワンポイントアドバイス

パーティションには、内容を表す簡潔な名前を使用してください。通常、CompanynameLocationCalltype の形式が、内容を簡潔に表し、パーティションをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasMetroPT」は、Dallas の Cisco オフィスからの、Local Access Transport Area (LATA) 間の無料コール用のパーティションを特定できます。



ヒント

必要に応じて、[<パーティション名>,<説明>] テキストボックスに各パーティションの名前と説明を入力することにより、複数のパーティションを同時に入力できます。必ず、各パーティション エントリに対して 1 行を使用し、パーティション名と説明はカンマで区切ってください。

表 53-2 に、パーティション名が固定長である場合にコーリング サーチ スペースに追加できるパーティションの最大数の例を示します。この最大数の計算方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「パーティション名の制限」を参照してください。

表 53-2 コーリング サーチ スペースのパーティション制限

パーティション名の長さ	パーティションの最大数
2 文字	170
3 文字	128
4 文字	102
5 文字	86
...	...
10 文字	46
15 文字	32

追加情報

「関連項目」(P.53-8) を参照してください。

パーティションの検索

ネットワーク内にはいくつかのパーティションが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、固有のパーティションを特定することができます。パーティションを特定する手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、パーティションの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えない限り、パーティションの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)] の順に選択します。

[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注)

該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注)

リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「関連項目」(P.53-8) を参照してください。

パーティションの設定

パーティションを追加する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** メニューバーで [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)] の順に選択します。
- [パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。
- 新しいパーティションを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックし、「**ステップ 3**」に進みます。
 - 既存のパーティションを更新するには、対象となるパーティションを見つけて（「**パーティションの検索**」(P.53-4) を参照）、「**ステップ 3**」に進みます。
- ステップ 3** 適切な設定値を入力します（表 53-1 を参照）。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
- パーティションを更新している場合は、[リセット (Reset)] をクリックするか、「**パーティションと影響を受けるデバイスとの同期化**」(P.53-6) に示すとおり [設定の適用 (Apply Config)] ボタンを使用します。そのパーティションに関連したデバイスをリセットすると、影響を受けるゲートウェイ上のコールがすべて欠落します。



-
- (注)** 複数のパーティションを設定できます。複数のパーティションを入力するには、各パーティションエントリに対して 1 行を使用します。最大 75 のパーティションを入力できます。入力できる文字数は、それぞれの名前と説明を合計して 1475 文字までです。各行のパーティション名と説明はカンマ (,) で区切ってください。説明を入力しない場合、Cisco Unified Communications Manager は、名前を説明として使用します。
-

追加情報

「関連項目」(P.53-8) を参照してください。

パーティションの検索 (パーティションが多数ある場合)

Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。**Max List Box Items** エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、パーティションのドロップダウン リスト ボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックすると、目的のパーティションを検索できます。

手順

-
- ステップ 1** [パーティション (Partition)] ドロップダウン リスト ボックスの横にある [検索 (Find)] ボタンをクリックします。
- [パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** パーティションの検索条件のフィールドで、検索条件を選択し、パーティション名の一部を入力します。
- ステップ 3** 表示されたパーティションのリストで、目的のパーティション名をクリックし、[OK] をクリックします。
-

追加情報

「[関連項目](#)」(P.53-8) を参照してください。

パーティションと影響を受けるデバイスとの同期化

設定変更されたパーティションとデバイスを同期させるには、次の手順を行います。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます (たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが不要な場合があります)。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)] の順に選択します。
- [パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。
- 検索条件に一致するパーティションのリストがウィンドウに表示されます。
- ステップ 4** 該当するデバイスと同期化するパーティションをクリックします。[パーティションの設定 (Partition Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** 他の設定変更を行います。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
- [設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログが表示されます。



(注) そのパーティションに関連したデバイスをリセットすると、影響を受けるゲートウェイ上のコールがすべて欠落します。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

追加情報

「関連項目」(P.53-8) を参照してください。

パーティションの削除

パーティションを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

パーティションがコーリング サーチ スペースなどの項目またはルート パターンに割り当てられている場合は、そのパーティションを削除できません。パーティションを使用しているコーリング サーチ スペースなどの項目を検索するには、[パーティションの設定 (Partition Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスにある [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中のパーティションを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されているパーティションを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するパーティションを使用しているコーリング サーチ スペースやデバイスなどの項目すべてに、別のパーティションを割り当てます。
- 削除するパーティションを使用しているコーリング サーチ スペースやデバイスなどの項目を削除します。

手順

ステップ 1 メニューバーで [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)] の順に選択します。

ステップ 2 削除するパーティションを見つけます。「[パーティションの検索](#)」(P.53-4) を参照してください。

ステップ 3 削除するパーティションのチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。



ヒント [すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、リスト内のすべてのパーティションを削除できます。

この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 4 パーティションを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。

**注意**

パーティションを削除するときは、削除するパーティションが正しいか慎重に確認してください。削除したパーティションを元に戻すことはできません。不用意に削除すると、削除したパーティションを作成し直す必要があります。



ヒント パーティションの削除は、削除するパーティションを見つけて表示し、[削除(Delete)] をクリックすることによっても実行できます。

追加情報

「関連項目」(P.53-8) を参照してください。

関連項目

- 「パーティションの設定値」(P.53-1)
- 「パーティションの検索」(P.53-4)
- 「パーティションの設定」(P.53-5)
- 「パーティションと影響を受けるデバイスとの同期化」(P.53-6)
- 「パーティションの削除」(P.53-7)
- 「パーティションの検索 (パーティションが多数ある場合)」(P.53-6)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「ローカル ルートグループ」